

第1回 学校評価結果のお知らせ

松山市立姫山小学校 <http://himeyama-e.esnet.ed.jp/>

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。1学期末に行った児童アンケート、保護者アンケート、教職員自己評価の結果についてお知らせいたします。今回の結果を教職員で共通理解し、今後の教育活動に活かして参ります。

なお、本結果は、ホームページにも掲載しています。

1 評価結果

【評 定】4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない
【肯定率】評定4と評定3の合計値(%)

番号	対象	質 問 項 目	R6		R7	
			肯定率 (%)	評定 平均	肯定率 (%)	評定 平均
1	児童	楽しく学校に通っている。	94	3.6	95	3.6
	保護者	お子様は、毎日楽しく学校生活を送っている。	91	3.3	95	3.5
	教職員	教育目標「自ら学び、ともに生きるたくましい姫山っ子の育成」の実現に向け、効果的な教育活動を実施している。	100	3.2	100	3.5
2	児童	授業は楽しく分かりやすい。	94	3.5	92	3.5
	保護者	お子様は、授業内容をよく理解し、楽しく学習に取り組んでいる。	88	3.1	87	3.1
	教職員	一人一人が分かる喜び、共に学ぶ喜びを実感できる授業を行っている。	100	3.4	96	3.4
3	児童	パソコン(タブレット)や投影機を使った授業は楽しく、分かりやすい。	93	3.6	94	3.6
	保護者	学校(先生)は、授業の中でパソコン(タブレット)や実物投影機等の情報機器を効果的に活用している。	96	3.4	99	3.4
	教職員	教科等の指導においてタブレットの活用等、効果的にICTを活用している。	100	3.1	88	3.4
4	児童	テストのできなかったところを見直したり、間違いを直したりしている。	88	3.4	89	3.4
	児童	宿題などの家庭学習や読書を、毎日がんばっている。	87	3.4	85	3.4
	児童	進んで体を動かし、体力づくりにはげんでいる。	81	3.3	81	3.3
	保護者	お子様は、家庭で学習や読書を頑張っている。	84	3.2	81	3.1
	教職員	児童の学力や体力の状況を把握し、それらの充実に向け計画的に指導を行っている。	94	3.3	96	3.5
5	児童	友達に優しくし、仲よく過ごしている。	96	3.7	94	3.6
	保護者	お子様は、思いやりをもち、友達と仲よく過ごしている。	96	3.4	95	3.4
	教職員	人権・同和教育の視点に立ち、いじめや差別を許さない意識や態度を育てている。	94	3.1	100	3.7
6	教職員	「学校のきまり」(学校生活のしおりに記載)など生徒指導体制の見直しを行い、児童の実態に応じた適切な指導を行っている。	100	3.6	100	3.6
7	児童	進んで学習や仕事をし、将来の夢に向かってがんばっている。	88	3.4	88	3.3
	保護者	お子様は、進んで手伝いや仕事をするなど勤労意欲を高めたり、将来の夢に向かって努力をしたりしている。	70	2.8	64	2.7
	教職員	将来に夢をもち、自分の進路や生き方について考える児童を育てている。	100	3.4	96	3.2

8	児童	学校は、きれいで安全な環境になっている。(安全な学習の場、けがの予防、避難訓練、交通安全)	96	3.7	97	3.6
	保護者	学校は、交通安全やけがの防止に関する指導、警報発表等の非常変災時の適切な対応等、安全な環境づくりに努めている。	99	3.4	98	3.4
	教職員	児童に交通安全やけが等の防止、非常変災時について適切な指導を行うとともに、安全な環境づくりに努めている。	94	3.2	100	3.8
9	児童	「早寝・早起き・朝ご飯」・手洗いなど自分の生活や健康に気を付けている。	87	3.4	87	3.3
	保護者	お子様は、自分の生活や健康に気を付けるなど、基本的な生活習慣が身に付いている。	89	3.2	86	3.1
	教職員	個々の健康状態を確認するとともに、環境衛生の維持・改善を行い、児童の健康保持・増進に努めている。	100	3.3	100	3.6
10	児童	先生は、親切に相談にのってくれる。	96	3.7	96	3.7
	児童	先生は、自分のよいところを認めてくれる。	97	3.7	96	3.7
	保護者	学校(先生)は子どもたちのことをよく理解し、一人一人を伸ばそうとしている。	93	3.3	99	3.4
	教職員	特別支援教育の視点をもって取り組み、個に応じた配慮や指導を適切に行っている。	100	3.4	100	3.6
11	教職員	管理職や学年主任等を中心とした組織的な対応を行っている。	100	3.3	100	3.8
12	教職員	子どもたち一人一人が分かる授業づくりや、様々な教育課題への対応のため、積極的に研修に取り組んでいる。	100	3.6	96	3.6
13	児童	ふるさと姫山のことを学ぶのは楽しい。	93	3.6	91	3.5
	児童	学校の行事や活動は楽しい。	96	3.7	96	3.7
	保護者	学校(先生)は、保護者や地域と連携して地域の特性を生かした行事や活動を実施し、子どもたちも楽しく活動している。*連携: 学年活動時の地域の講師や保護者ボランティア等	98	3.4	96	3.6
	教職員	教育活動の充実に向けて地域や保護者と連携・協力している。	94	3.3	92	3.4
14	保護者	学校は、お知らせ文書や学年・学校だより、ホームページや MAC メール等により、積極的に情報を発信している。	97	3.5	97	3.4
	教職員	お知らせ文書や学年だより・学校通信、ホームページや tetoru 等により、積極的に情報を発信している。	100	3.2	92	3.2
15	保護者	学校(先生)は、授業の中で板書(黒板)を工夫したり、教室・校内の掲示物を充実させたりしている。	99	3.5	99	3.5
	教職員	言語活動の充実及び展掲示の工夫等の環境整備に努めている。	100	3.3	100	3.4
16	教職員	小1プロブレムや中1ギャップの解消につなげるために関係園・校で連携し、児童の学校生活に対する不安感の軽減を図っている。	100	3.3	80	3.0
17	教職員	教育の質の向上のために関係園・校で連携し、学校間の系統性を重視した学習指導を行っている。	88	3.1	80	3.0

2 アンケートの考察

- 項目1～3における学校生活及び授業については、肯定率に若干の変化が見られる。デジタルとアナログのベストミックスを模索しながら、日々の学習が子どもたちにとって有意義なものとなるよう、さらに力を入れていく。
- 項目4の家庭学習においては、児童・保護者の意識の低下が見られた。読書・家庭学習への意欲を高める啓発を行っていく必要がある。
- 項目5では、児童の意識が若干低下していた。日々の様子や生活アンケートなどを基に、児童が楽しく学校生活を送れるよう、心掛けていく。

- **項目 7**の将来性については、児童・保護者・教職員の意識が昨年度より低下しており、将来を見据えた指導を心掛けていく必要があると考える。
- **項目 9**については、児童の「早寝・早起き・朝ごはん」の意識が昨年度より低くなっている。基本的な生活習慣の確立を目指し、啓発活動が続けていきたい。
- **項目 13・14**においては、継続して地域との連携を深め、より多くの情報を発信していきたい。
- **項目 16・17**においては、幼・保・小・中での情報交換を行いながら、連携をさらに深めていきたい。

3 保護者の皆様からのご意見と学校の回答

貴重なご意見をありがとうございました。ご意見の中に、教職員への励ましのお言葉がたくさんありました。教職員一同お礼申し上げます。

下に、ご意見と回答をまとめました。限られた紙面ですので、全てのご意見に回答させていただくことは困難なことをご理解いただきますようお願いいたします。なお、同じご意見が複数の場合や長文の場合は、簡略させていただいていることもご了承ください。

○ 始業式の日目に目を輝かせてニコニコしながら帰宅し、大好きな先生が担任になってくれたと嬉しそうに報告をしてくれました。先生のおかげで毎日学校に楽しく通うことができています。最近、言葉を丁寧に話すようになったな。と思い、子どもに聞いてみると、先生がそう話しているから。と教えてくれました。子どもに丁寧に関わってくださり、本当にありがとうございます。先生のおかげで、読書もするようになりました。2学期もよろしくお願いいたします。 ○ いつもお世話になっております。毎日、楽しそうに通っている姿を見て、安心しています。以前、アレルギーのことで相談をさせていただいた時、お電話をいただき、丁寧に対応をしていただきありがとうございました。 ○ いつも迅速にご対応いただき、大変感謝しております。子どもは学校から帰ると、先生のお話を楽しそうに教えてくれ、私たちもつい笑顔になります。残りの学期もどうぞよろしくお願いいたします。 ○ いつも優しく接していただきありがとうございます。先生のおかげで小学校に慣れ楽しく学校生活をおくれています。 ○ いつもご指導いただき、ありがとうございます。先生方のおかげで毎日楽しく過ごせているようです。今後ともよろしくお願いいたします。 ○ 少し難しくなった計算や漢字に苦戦している様子も見られましたが、楽しく学校生活を過ごせているようです。ありがとうございます。 ○ 学校の授業の黒板などロイロノートに送ってきてくれて本当に助かります。 ○ いつも楽しく学校に通うことができており、感謝しております。子どもの思いがうまく表現できず、どう行動すればよいか迷っているような時にも、丁寧に対応してくださりありがとうございます。		
ご意見		学校の回答
登下校	○ 低学年の子が一人で下校しているのをたまに見かけるが一人で下校させて大丈夫ですか？	毎日、学年での集団下校を行っています。また、教員の登下校指導も定期的に行っています。下校途中には、一人になる場面もありますので、時間の許す限り「ながら見守り」のご協力をよろしくお願いいたします。
	○ 重すぎる荷物を持って登下校する子どものことを考えてほしいです。他校では、毎日持ち帰らないし充電も学校でできるそうです。	市からもあるように、タブレットを使った学習、または家庭学習の推進の一環として、タブレットの持ち帰りをしています。家庭のPC、タブレットを使用して学習ができる状況であれば、学校に保管することも可能であり、持ち帰らなくても構いません。不明な点がありましたら、学級担任へご相談ください。
	○ 登校時の班長の旗も荷物になるので廃止してほしい。	現在は、班長旗で班長である自覚をもたせること、交通量が多いところでの使用が必要であることなどの観点より、持たせています。一方で、廃止も視野に入れた話し合いをPTAと重ねています。
HP	○ ホームページの更新が遅いと感じる。もう少し載せていただけるといいなと思っています。	子どもの日常を発信していけるよう、努めてまいります。

保健	○ 学校での風邪、流行りの病気の情報を流して欲しい。	状況に応じて、テトルやホームページにて情報を発信していきます。
計画帳	○ タブレットでの計画帳は不便。立ち上がるまでに時間がかかり、親が気軽に見ることができない。そして、文字を書かなくなった。もっと自分の字で漢字など書くべき。宿題確認するだけに時間かかる。音読しようとしたら先生からまだ送信されていないからできないなど…弊害がある。	教育活動の時間確保、子どもたちへの負担減などを考慮し、タブレットでの配信をしています。 また、現在使用しているタブレットは、今年度末までにすべて入れ替えとなる予定です。新しいタブレットは現在のタブレットよりも軽くなり、起動も速くなります。 ロイロノートについては、携帯でも閲覧可能です。アプリを入れておくことで保護者がいつでも確認できることもメリットです。もし、活用できるようであれば、よろしくお願いします。
参観日	○ 参観日のときの保護者同士の会話がうるさすぎます。できれば担任の先生や見回りの先生の方から直接注意をしていただきたいです。本人たちは小声で喋っているつもりでしょうが本当にうるさいです。	案内文書や掲示、テトル等での注意喚起を随時行っています。
児童	○ 車での送迎について、送迎する方も増えているし、混雑するのは分かりきっているのに、子どもたちに危険のないように送迎できるよう学校側からルールをきちんと示していただけると助かります。	学校からも注意喚起を行っておりますが、状況が変わっていないのが現状です。保護者の方への理解を求められるよう、継続して注意喚起を行っていきます。
登校時間	○ 朝の委員会活動の内容を見直し、朝の登校時間をあと 10 分延ばすなどしてほしい。授業開始時間の見直しは、教員の働き方改革にもなる。ぜひ検討をしてほしい。	毎年、開始時間などの見直しを図っています。教員の働き方改革を含め、児童・保護者・教職員にとって、よりよい学校生活になるよう、見直しを続けていきます。
教職員	○ 先生方の中に保護者や地域の方に挨拶をしない人がいると思います。子どもにとっていいお手本になってほしいです。	大人が手本となり、明るい挨拶が響き渡る学校にしていきたいと考えています。
	○ クラスに行けない、授業が受けられない、という子どもたちの居場所を学校の中でなんとかつくれるのかという思いがあります。他の学校では力を入れているところもあると聞きます。	本校でも子どもの居場所づくりについては、継続して検討しております。教員の配置、場所の確保など、様々な面で難しい状況にありますが、個々の状況や校内の環境などに応じた最善策を考えていきます。
	○ 懇談会で学校に行った際、他学年の女性の先生が児童に威圧的な言動をしていたのが気になりました。	子どもにとってよい指導ができるように、教職員としての言動には気をつけ、教育活動を行ってまいります。
その他	○ 図書室に冷房または冷風機などいれませんか。図書を借りるだけといっても、探す気力すらなくなる暑さになってきています。	学校としても扇風機などでの対策は行っており、引き続き、松山市へ施設面の要望を出しています。
	○ 入学後、テトルで出欠連絡ができるようになったらお知らせしてくれるはずだったと思うのですが、いつ頃できますでしょうか？	テトルの登録は全員完了しています。不明な点がありましたら、学校へお問い合わせください。
	○ 算数ボックスの見直しが必要ではないかと思っています。計算カードは必要であると思いますが、そのほかは本当に購入が必要なのか検討の余地があるのでは感じています。	教材の購入に関しては、毎年、必要に応じた物を購入し、授業において活用しています。活用の仕方についての教材研究も行っています。ご理解をよろしくお願いします。